

平成30年9月美馬市議会定例会議事日程（第2号）

平成30年9月5日（水）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 議案第59号 美馬市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第60号 平成30年度美馬市一般会計補正予算（第2号）
議案第61号 平成30年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第62号 平成30年度美馬市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第63号 平成30年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第64号 平成29年度美馬市一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算認定について
議案第65号 平成29年度美馬市公営企業会計決算認定について
- 日程第 3 議案第66号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第67号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第68号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 4 報告第 3号 平成29年度美馬市健全化判断比率及び資金不足比率について
報告第 4号 市長専決処分の報告について
報告第 5号 市長専決処分の報告について
報告第 6号 株式会社ウッドピアの経営状況について

平成30年9月美馬市議会定例会会議録（第2号）

◎ 招集年月日 平成30年9月5日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 議 午前10時00分

◎ 出席議員

1番	田中みさき	2番	立道 美孝	3番	藤野 克彦
4番	都築 正文	5番	田中 義美	6番	中川 重文
7番	林 茂	8番	武田 喜善	9番	郷司千亜紀
10番	井川 英秋	11番	西村 昌義	12番	久保田哲生
13番	片岡 栄一	14番	原 政義	15番	川西 仁
16番	谷 明美	17番	前田 良平	18番	武田 保幸

◎ 欠席議員

なし

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	藤田 元治
副市長	加美 一成
副市長	七條 浩一
戦略監	浅野誠一郎
企画総務部長	吉田 貞伸
保険福祉部長	川口 種満
市民環境部長	中川 貴志
経済建設部長	山田 一弘
水道部長	小山 陽央
美来創生局長	前川 正弘
会計管理者	平井 佳史
消防長	武田 浩二
保険福祉部理事	小野 洋介
木屋平総合支所長	佐古 真澄
企画総務部次長（企画政策課長事務取扱）	吉田 正孝
企画総務部秘書課長	渡邊 晴樹
代表監査委員	喜多 輝光

教育長
副教育長

村岡 直美
大泉 勝嗣

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長

住友 礼子

議会事務局次長

見立 貞治

議会事務局主幹

山口 慶子

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

1番 田中みさき 議員

2番 立道 美孝 議員

3番 藤野 克彦 議員

開議 午前10時00分

◎議長（川西 仁議員）

おはようございます。

昨日、本市に接近をいたしました台風21号の影響によりまして、会議を延会いたしました。今回の台風によりまして、被害に遭われました皆様に心よりお見舞いを申し上げる次第でございます。

ただいまの出席議員は18名でございます。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

なお、藤田市長よりのご挨拶につきましては、提案理由の説明の際に併せてお願いをすることといたします。

これより、本日の日程に入ります。

本日の議事日程につきましては、お手元にご配付の日程表のとおりでございます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員につきましては、会議規則第88条の規定により、1番 田中みさき議員、2番 立道美孝議員、3番 藤野克彦議員を指名させていただきます。

日程第2、議案第59号、美馬市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてから議案第65号、平成29年度美馬市公営企業会計決算認定についてまでの7件を一括し、議題とさせていただきます。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

◎市長（藤田元治君）

議長。

◎議長（川西 仁議員）

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

皆さん、おはようございます。

平成30年9月美馬市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、日ごろは市勢発展のためにご支援とご協力を賜っておりますことに対しましても、重ねて厚くお礼を申し上げます。

最初に、昨日、徳島県南部に上陸をいたしました台風21号についてであります。

本市では、一昨日、午後7時に災害対策本部を設置いたしまして、市内12カ所に避難所を開設いたしました。また、昨日、午前6時には、災害対策本部会議を開催し、市民の皆様方に早目、早目の避難を呼びかけるため、市内全域に避難準備、高齢者等避難開始を発令いたしました。

その後、木屋平地区を始め、市内山間部に避難勧告を発令いたしました。

現在までに、大雨や暴風の影響で、倒木による家屋損壊などの被害が報告をされており

ます。なお、現在も職員による市内全体の被害調査を実施しておりまして、被害の詳細が判明次第、早急に対処してまいります。

一方、平成30年7月豪雨によりまして、西日本を中心に甚大な被害がもたらされ、多くの尊い命が失われましたことは、誠に残念なことであります。犠牲になられた方々のご冥福と被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げますとともに、被災をされた全ての皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本市といたしましては、被災地の皆様に少しでもお役に立てるよう、現在、職員はもとより市民の皆様からも義援金の募集を行っているところでございます。更に、人的支援といたしまして、7月12日から28日にかけて、消防職員合計20名を緊急消防援助隊として、広島県安芸郡坂町に派遣をいたしまして、行方不明者の捜索活動を実施してまいったところでございます。このほか、現在までに保健師や水道部の職員など4名を岡山県倉敷市や愛媛県宇和島市に、また、今月からは1名を愛媛県大洲市に3カ月間派遣をしており、今後ともできる限り支援、協力を行ってまいります。

一方、本市におきましては、この豪雨による河川の増水などはございましたが、特に大きな被害はありませんでした。しかしながら、決して気を緩めることなく、今後とも市民の安全・安心を守るため、しっかりと防災、危機管理体制を整えてまいります。

次に、ブロック塀の安全対策についてであります。

本市では、6月に発生をした大阪府北部を震源とする地震を受けて、直ちに学校、市有施設のブロック塀の調査を実施いたしました。その結果、安全性に問題があると認められた13カ所のうち、8カ所の対応として必要な経費につきましては、本定例会に係る予算を提案させていただいております。なお、早急な対応が必要な4カ所については、既に解体・撤去を行っております。また、民間所有のブロック塀の安全対策として、新たな補助制度を創設したいと考えており、このための予算につきましても本定例会に提案をさせていただいているところであります。こうした取り組みにより、近い将来発生が予測されております南海トラフ巨大地震等に備え、ブロック塀の倒壊による人的被害の防止等を図るなど、安全・安心なまちづくりを目指してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、穴吹川筏下り大会についてであります。

穴吹川の大イベントとして、例年実施してまいりました穴吹川筏下り大会を先月5日に開催をし、県内外から41艇の参加がございました。酷暑の中での開催となりましたが、大きな事故もなく、成功裏に幕を閉じることができました。昭和58年の第1回開催以降、長きにわたり大会運営にご尽力をいただきました穴吹川筏下り大会実行委員会の皆様方を始め、美馬市商工会穴吹支部の方々に心より感謝を申し上げます。今後につきましては、穴吹川における新たな地域活性化イベントの検討に加え、年間15万人が訪れる「清流穴吹川」という観光資源を生かし、儲かる観光につながるような仕組みづくりを官民連携のもと、進めてまいります。

さて、本定例会には、平成30年度一般会計補正予算を始め、条例などの議案を提案さ

せていただいておりますが、提案理由をご説明申し上げます前に、当面する市政の課題と主要施策につきまして、ご報告を申し上げ、議員各位を始め、市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

最初に、地方創生「県西部の中核拠点」としての美馬市創生の実現であります。

大塚製薬株式会社徳島美馬工場の状況につきましては、去る7月31日に、工場建屋が完成したとお聞きをしておりますが、平成32年9月に予定をされる操業開始に向けまして、今後、日本、アメリカ、ヨーロッパの医薬品製造基準に対応した最新の設備を導入し、液剤などの医薬品製造の品質管理や製造工程全般の管理データを取るなど、製造承認の手続を進めていくとのことでございます。

本市といたしましては、今後、防災調整池など周辺環境の適正な管理に努めるとともに、大塚製薬株式会社の企業理念の一つである地域社会との共生に向けて、地域住民の皆様方に参画していただけるイベントの開催など、検討してまいります。

大塚製薬株式会社徳島美馬工場の操業開始は、本市はもとより、県西部地域にとりまして、地域活性化の大きなチャンスであると考えており、この機会を逃すことなく、確実に地域創生に生かしてまいりたいと考えております。

次に、未来へはばたく「市民の個性と能力が発揮できるまちづくり」であります。

本年3月の定例会において、工事費等のご承認をいただきました穴吹地区認定こども園整備事業につきましては、現在、建物の本格的な建築が進んでおり、鉄骨工事や屋根部分の工事が完成をして、次の工程の外壁及び内部工事に取りかかっているところでございます。8月末現在までの進捗率は、全体工程の約40%まで進んでおり、来年3月の竣工に向けて、おおむね予定どおりの進捗でございます。今後もしっかりと事業の進捗管理を行うとともに、来年4月の開園に向けて、関係機関等と連携を図り、着実に推進をしてまいります。

次に、未来を守る「安全・安心で環境にやさしいまちづくり」であります。

美馬市民地域防災訓練につきましては、平成20年度から各小学校区を対象として毎年実施をいたしております。本年度につきましては、来る10月7日に、旧郡里小学校区を対象とした地域の自主防災会の皆様や自衛隊、消防など関係機関のご参加をいただきまして開催をする予定といたしております。

また、先程申し上げました、大阪府北部を震源とする地震や平成30年7月豪雨などの大規模な災害が発生をした場合は、自らの命は自らが守る自助、地域の中で助け合う共助という活動が非常に重要になってまいります。本市といたしましても、こうした防災訓練を継続的に実施することによりまして、市民の皆様方の防災意識の高揚や自主防災組織の強化、育成による地域防災力の向上を図ってまいります。

次に、未来を創る「快適で便利・活力がみなぎり、交流がうまれるまちづくり」であります。

最初に、道の駅みまの里の運営状況についてであります。関係各位のご努力によりまして、6月2日のオープン当初から多くの来場者でにぎわい、8月31日までの約3カ月間

における産地直売所、農家レストランの来場者数は延べ6万7,500人にのぼり、売上高につきましては、総額6,400万円、1日当たり約70万円となっております。これらの施設では、四季折々の地元農産物を活用し、創意工夫を凝らしたオリジナル商品の開発が進められており、これまでに本市の農林産物特選ブランドのブルーベリーを使用したアイスクリームや世界農業遺産の認定地域で栽培をされたゆずを使用したパンなど、独自性・価値性に富む商品が販売されております。

また、こうした地産地消や6次産業化の取り組みを、市内外の方々に効果的に発信するためのPR活動や販売・体験イベントなども定期的に行っており、地元商品の魅力向上や施設全体のにぎわいの創出につながっております。

みまの里の運営につきましては、緒に就いたばかりではございますが、今後も指定管理者との連携を図りながら、多くの皆様方に愛され、利用される施設になるよう、関係者一同努力をしております。

次に、地域交流センター「ミライズ」についてであります。

去る5月12日に全館オープンをしてから、市民ホールや地域交流スペースの各種のハコは、音楽イベントや各種講演会など沢山の方々にご利用いただいております。

また、美馬市立図書館の来館者数は、年内には10万人を達成する見込みとなっているなど、順調に推移をしております。

そこで、この「ミライズ」が、更に市内外の多くの人に親しまれ、愛される施設となるように、ロゴマークを募集することといたしました。このロゴマークは、施設の看板やパンフレット、ホームページ等に活用したいと考えております。ロゴマーク募集の関係予算につきましては、本定例会に提案をさせていただいておりますが、今後も「ミライズ」が県西部の中核拠点としてのにぎわいを生み、更には市民の皆様方を始めとする沢山の方々の交流の拠点となるべく努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、交流会館ブルーヴィラ穴吹についてであります。

リニューアルオープンをしてから、4カ月が経過をいたしました。これまでに料理の新メニュー開発のほか、宿泊室のネット予約やインバウンド誘客に向けた国内外での営業活動など、施設利用客の新規開拓に取り組んでおります。

7月の施設利用状況につきましては、平成30年7月豪雨や台風などの気象状況が影響し、前年度と比較して若干減少しましたが、8月10日から14日までのお盆期間中につきましては、昨年を上回る売り上げを記録したとの報告を受けております。

本市といたしましては、今後とも効率的、効果的な施設運営が継続され、市民の皆様や観光客に親しまれる施設となれるよう、しっかりと指導、監督をしておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

次に、一般社団法人、美馬観光ビューローについてであります。

このたび、美馬市、JR四国、美馬観光ビューローが連携し、徳島県初の「JR四国・四国家のお宝ツアー」を造成いたしました。このツアーは、JR穴吹駅を発着点とし、市

内の景色や伝承・文化、建築物などの観光資源を掘り起こし、ローカル地域への面的な誘客を図る実証実験ツアーでございます。

まず、第一弾としまして「四国三郎の恵み、阿波藍とうだつの町並み」と銘打って、10月12日、13日の両日、本楽寺から舞中島、うだつの町並みまでを巡るツアーを計画しております。今後、この実証実験ツアーを成功させ、地域の皆様と協働し、第二、第三弾の企画につなげられるよう取り組みを進め、地域観光関連事業者の活力向上と儲かる観光に結びつけたいと考えております。

それでは、上程をいただきました議案等につきまして、ご説明を申し上げます。

最初に、議案第59号、美馬市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてであります。

この案件は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布され、代替保育に係る連携施設の確保義務が緩和されたこと等に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第60号、平成30年度美馬市一般会計補正予算（第2号）であります。

今回の補正予算は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億9,350万円を追加し、補正後の歳入歳出の総額を199億3,400万円とするものであります。

補正予算の主なものについて、ご説明を申し上げます。

総務費につきましては、先程申し上げましたブロック塀等の緊急安全対策事業及びブロック塀等撤去促進事業補助金として、併せて808万3,000円を計上しております。

また、旧郡里幼稚園の改修及び旧重清西幼稚園の解体撤去などに係る経費といたしまして、併せて3,063万1,000円を計上しております。

民生費につきましては、養護老人ホームのひかり荘の大規模改修事業に係る本市の負担金として、4,233万5,000円を計上しております。

また、子ども・子育て支援事業計画の第2期計画の策定に係る委託料といたしまして、253万8,000円を計上するとともに、平成31年度分の委託料につきましては、216万円の債務負担行為の設定をしております。

農林水産業費につきましては、補助金交付の内示を受けた県単農道の整備事業の測量設計委託料や工事請負費といたしまして、1,090万円を、農山漁村未来創造事業補助金として、2,620万円を計上しております。また、新しい森林管理システムの導入に向けた本市と徳島県、つるぎ町が会員となって設立をするやましごと工房の初期費用に係る本市の負担金として、120万円を計上しております。

商工費につきましては、うだつの町並みの防犯対策として設置をする定点カメラに係る経費といたしまして、231万8,000円を計上しております。

土木費につきましては、市道及び河川の維持補修に係る経費といたしまして、併せて1億950万円を計上しております。また、つるぎ町が実施をする吉田谷川排水ポンプ施設整備事業に係る追加負担金として、1,660万円を計上しております。

消防費につきましては、ブロック塀等緊急安全対策事業といたしまして、84万3,0

00円を、教育費につきましては、同じくブロック塀等緊急安全対策事業といたしまして、865万5,000円を計上しております。また、江原中学校グラウンドの防球フェンス更新に係る工事費といたしまして、1,080万円、穴吹中学校屋内運動場の照明更新経費として836万5,000円を計上しております。

以上が、一般会計補正予算の概要であります。

次に、議案第61号、平成30年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、高齢者保健福祉支援センターの施設修繕の経費及び社会保険診療報酬支払基金の退職者医療療養給付費等交付金の精算に伴う償還金であります。

次に、議案第62号、平成30年度美馬市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、保険料軽減特例の見直しに伴うシステム改修の経費であります。

次に、議案第63号、平成30年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、社会保険診療報酬支払基金の介護給付費交付金等の精算に伴う償還金であります。

次に、議案第64号、平成29年度美馬市一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算認定について及び議案第65号、平成29年度美馬市公営企業会計決算認定についてであります。この2議案につきましては、市の一般会計及び特別会計並びに公営企業会計の平成29年度決算について、監査委員の意見を付しまして、議会の認定をお願いするものであります。

このほか、本定例会には、後程ご説明をさせていただきますが、人事案件が3件、報告案件が4件の計14件を提案させていただきます。

ご審議を賜り、原案のとおりご可決くださいますよう、お願いを申し上げます、私からのご挨拶及び提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしく願いをいたします。

◎議長（川西 仁議員）

ここで、議案第64号、平成29年度美馬市一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算認定について及び議案第65号、平成29年度美馬市公営企業会計決算認定についての2件につきましては、監査委員から決算審査結果の報告をいただきたいと思っております。

◎代表監査委員（喜多輝光君）

議長。

◎議長（川西 仁議員）

代表監査委員、喜多輝光委員。

[代表監査委員 喜多輝光君 登壇]

◎代表監査委員（喜多輝光君）

おはようございます。監査委員の喜多でございます。

議長よりご指名をいただきましたので、美馬市監査委員を代表いたしまして、平成29年度美馬市一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況審査及び平成29年度美馬市公営企業会計決算審査の概要についてご報告申し上げます。

市長から審査に付されました、各会計決算並びに各会計決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、証書類及び基金運用状況調書、更には公営企業会計決算、証書類及びその他関係書類について、地方自治法並びに地方公営企業法に準拠して作成されているかどうかを確かめ、これらの計数の正確性と事務処理の適法性を検証するため、去る7月30日から8月3日まで議会選出の西村監査委員とともに審査を実施いたしました。

なお、審査に当たりましては、関係課等から資料の提出を求め、併せて関係職員から説明を受け、審査の参考といたしました。

それでは、初めに一般会計及び特別会計について、次に、公営企業会計について、決算審査報告をいたします。

まず、一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況についてでございます。

審査の結果、それぞれ計数に誤りはなく、予算の執行及び会計収支に関する事務の処理は適正に行われていることを確認いたしました。詳細につきましては、お手元の審査意見書のとおりでございますが、その概要について、一部ご報告をさせていただきます。なお、金額につきましては千円単位とし、単位切り捨てでのご報告とさせていただきますので、ご了承ください。

一般会計における歳入決算額は230億5,063万5,000円で、前年度決算額に比べまして3.2%の減となっており、予算現額に対する収入率は99.6%であります。

一方、歳出決算額は223億7,765万9,000円で、前年度決算額に比べまして3.0%の減となっており、予算現額に対する執行率は96.7%であります。

従いまして、歳入歳出差引額は6億7,297万5,000円となりまして、翌年へ繰り越すべき財源1億50万5,000円を差し引きました実質収支は5億7,247万円の黒字となっております。

次に、特別会計につきまして、美馬市住宅新築資金等貸付事業特別会計など全11事業の特別会計がございしますが、合計額のみご報告させていただきます。

特別会計における歳入決算額は89億3,485万円で、前年度決算額に比べまして7.9%の減となっております。予算現額に対する収入率は101.4%でございます。

一方、歳出決算額は87億4,361万1,000円で、前年度決算額に比べまして8.6%の減となっており、予算現額に対する執行率は99.2%であります。

従いまして、歳入歳出差引額は1億9,123万8,000円となりまして、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんでしたので、実質収支は同額の1億9,123万8,000円の黒字となっております。

続きまして、起債の状況についてご報告いたします。

一般会計では、決算年度中に43億6,280万円の増額となり、平成29年度末現在高は301億4,324万円となっております。

特別会計では、決算年度中に4,920万円の増額となり、平成29年度末現在高は22億9,331万3,000円となっております。

一般会計と特別会計を合わせた平成29年度末現在高は324億3,655万4,000円となっております。

この結果を29年度末住民基本台帳人口2万9,811人で割りますと、市民一人当たりの市債残高は108万8,000円となります。

また、基金の状況につきましては、一般会計と特別会計を合わせて、決算年度中に3億7,391万5,000円減少し、平成29年度末現在高は91億4,808万9,000円となっております。

まとめといたしまして、一般会計及び特別会計全てにおいて、堅実な行財政運営に努力された結果、実質収支はいずれの会計においても黒字という結果になりました。しかしながら、一般会計における自主財源比率はわずか21.6%しかなく、前年度比4.1%の減少となっております。起債については、残高が324億3,655万4,000円と依然として多額になっており、後年度の公債負担への影響が懸念されます。地方交付税については、平成27年度以降、合併算定替えと呼ばれる加算が段階的に削減され、交付額の縮小は避けることができない状況となっております。

一方、歳出においては、高齢化の進展に伴う社会保障関係経費、穴吹地区認定こども園整備事業に係る投資的経費、美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る各種事業費及び大型プロジェクト事業に係る元利償還金などの増加により、依然として厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況ではありますが、職員一人ひとりが危機感を持っていただき、今後も市税などの自主財源の確保や受益者負担の適正化を図るとともに、あらゆる財源の確保に努められ、なお徹底した行財政改革を引き続き進めることにより、効率的、効果的かつ将来にわたって健全な行財政運営が行われることを期待するものであります。

次に、公営企業会計決算についてご報告を申し上げます。

それぞれ審査を実施いたしましたところ、当年度の経営成績及び財政状況を適正に表示されていることを確認いたしました。詳細につきましては、お手元の平成29年度美馬市水道事業及び工業用水道事業会計決算書内に折り込まれております決算審査意見書のとおりでございますが、その概要について一部ご報告いたします。

まずは、水道事業会計について報告いたします。

平成29年度末における業務実績は、給水人口が2万7,851人、給水戸数は1万1,817戸であり、前年度に比べ給水人口は4,540人、給水戸数は2,064戸増加しております。

年間配水量は476万7,000立方メートルで、前年度に比べ97万2,000立方メートルの増加となりました。

年間給水量は322万2,000立方メートルで、前年度に比べ50万4,000立方メートルの増加となり、有収率につきましては67.6%で、前年度に比べ4ポイント減少いたしました。

経営状況につきましては、損益計算書によりますと、水道事業収益は6億7,968万

8,000円であるのに対し、水道事業費用は6億2,870万円となり、収支差引5,098万8,000円の当年度純利益となっております。これは、簡易水道の一部を上水道事業へ統合したことにより、事業規模及び会計規模が拡大したことによるものであります。

まとめといたしまして、水道事業は安価で良質な飲料水の安定供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することを目的としており、決して営利を目的とした事業ではありません。基幹管路の耐震性に高い管路に布設替えをすることにより、漏水防止や地震等の災害対策を図るなど、安全な水の安定供給とともに市民のライフラインとしての基幹施設の整備に努められています。一方、給水状況については、当年度より簡易水道の一部を統合していることから給水状況は増加しておりますが、人口動態の状況等により、給水収益の自然増は期待できない現状であります。従って、今後の事業運営に当たっては、次年度の負担が過重とならないよう長期的な展望に立った資金計画の精査を行い、公営企業の基本原則である企業の経済性を常に発揮するとともに、公共の福祉の増進に寄与されるよう望むものであります。

次に、工業用水道事業会計についてご報告いたします。

平成29年7月から1事業者へ特定給水を開始し、契約水量は7月から12月まで日量5立方メートル、翌1月から3月まで、日量8立方メートルで、年間給水量3,040立方メートルとなりました。しかし、企業側施設の建設に使用する給水にとどまり、本格給水とはなっておりません。損益計算書で事業収益は1,579万2,000円で、主な収入は給水収益115万8,000円で、長期前受け金戻入は1,421万9,000円であります。事業費用は5,729万5,000円で、主な費用は減価償却費3,874万円、人件費664万2,000円、委託料が377万2,000円、支払利息405万9,000円であります。基本給水を開始していないため、当年度純損失は4,150万3,000円となっております。

今後の事業運営に当たりましては、基本給水を開始し、安定的な工業用水水道料金収入による単年度損益の黒字化と累積欠損金の解消を図り、経営企業の基本原則である企業の経済性を常に考慮するとともに、優良かつ豊富な水を企業へ安定的に供給し、効率的、効果的な運営に努められるよう望むものであります。

以上、決算審査報告とさせていただきます。

◎議長（川西 仁議員）

以上で、監査委員の報告が終わりました。

お諮りをいたします。ただいま議題となっております議案中、議案第64号及び議案第65号の2件につきましては、7人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査することといたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（川西 仁議員）

異議なしと認めます。よって、議案第64号及び議案第65号の2件につきましては、

7人の委員で構成をする決算審査特別委員会を設置し、審査することと決定をいたしました。

委員の選任につきましては、委員会条例第8条第1項の規定により、議長においてお手元にご配付のとおり指名をいたします。なお、本日、散会后、決算審査特別委員会を開催していただき、正副委員長の互選をお願いしていただきたいと思います。

次に、日程第3、議案第66号、人権擁護委員候補者の推薦についてから議案第68号、人権擁護委員候補者の推薦についてまでの3件を議題とさせていただきます。

提案理由の説明を求めます。

◎市長（藤田元治君）

議長。

◎議長（川西 仁議員）

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

ただいま、上程をいただきました議案第66号、人権擁護委員候補者の推薦についてから議案第68号、人権擁護委員候補者の推薦についてまでの3件の人事案件について、ご説明をさせていただきます。

議案第66号から議案第68号までの3議案は、人権擁護委員法第6条第3項の規定によりまして、議会の意見を求めるものであります。

最初に、議案第66号についてであります。

推薦をお願いする者は、議案書のとおり、住所は美馬市穴吹町三島字舞中島1393番地1、氏名は古淵慈祥氏でありまして、生年月日は昭和33年4月12日でございます。現職の委員でございました加藤時寛氏が、本年12月31日をもって、任期満了となります。その後任といたしまして、古淵氏を推薦するものであります。古淵氏は、広く社会事情に通じておられ、人格、識見ともに高く、人権擁護委員候補者として適任であると認められますことから、推薦することについて、ご同意をお願いするものであります。

次に、議案第67号についてであります。

推薦をお願いする者は、議案書のとおり、住所は美馬市美馬町字北土ヶ久保92番地1、氏名は滝川公氏でありまして、生年月日は昭和25年8月23日でございます。滝川氏は、現在、人権擁護委員に委嘱されておりまして、その任期は本年12月31日をもって満了します。人権擁護委員候補者として適任であると認められますことから、再度、推薦をすることについてご同意をお願いするものであります。

次に、議案第68号についてであります。

推薦をお願いする者は、議案書のとおり、住所は美馬市木屋平字三ツ木333番地、氏名は武田孝氏でありまして、生年月日は昭和31年2月10日でございます。現職の委員でございました松家安信氏が、本年12月31日をもって、任期満了となります。その後任といたしまして、武田氏を推薦するものであります。武田氏は、長年の行政経験を有し、

広く社会事情に通じておられ、人格、識見ともに高く、人権擁護委員候補者として適任であると認められますことから、推薦することについて、ご同意をお願いするものであります。

以上、3件の人事案件につきまして、原案のとおりご同意を賜りますようお願いをいたしまして、提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくをお願いいたします。

◎議長（川西 仁議員）

ただいま、議題となっております議案は人事案件でありますので、成規の手続を省略し、直ちに採決をさせていただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（川西 仁議員）

異議なしと認めます。よって、議案第66号から議案第68号までにつきましては、成規の手続を省略し、直ちに採決することに決しました。

これより、順次、採決をさせていただきます。

初めに、議案第66号、人権擁護委員候補者の推薦についてを採決いたします。

本案は、原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（川西 仁議員）

異議なしと認めます。よって、議案第66号は原案のとおり同意することに決しました。

次に、議案第67号、人権擁護委員候補者の推薦についてを採決いたします。

本案は、原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（川西 仁議員）

異議なしと認めます。よって、議案第67号は原案のとおり同意することに決しました。

続きまして、議案第68号、人権擁護委員候補者の推薦についてを採決いたします。

本案は、原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（川西 仁議員）

異議なしと認めます。よって、議案第68号は原案のとおり同意することに決しました。

次に、日程第4、報告第3号、平成29年度美馬市健全化判断比率及び資金不足比率についてから、報告第6号、株式会社ウッドピアの経営状況についてまでの4件につきまして報告を求めます。

◎企画総務部長（吉田貞伸君）

企画総務部長。

◎議長（川西 仁議員）

企画総務部長、吉田部長。

[企画総務部長 吉田貞伸君 登壇]

◎企画総務部長（吉田貞伸君）

私からは、報告第3号につきまして、ご説明申し上げます。議案書8ページをごらんください。

報告第3号、平成29年度美馬市健全化判断比率及び資金不足比率につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、監査委員の意見を付して報告をするものでございます。

まず、表1の健全化判断比率についてでございます。

実質赤字比率及び連結実質赤字比率につきましては、本市の一般会計、特別会計、公営企業会計ともに黒字決算ですので、数値はございません。次の実質公債費比率につきましては、一般会計、特別会計、公営企業会計及び一部事務組合の会計を含めた公債費比率でございますが、法令で定める早期健全化基準の25%に対し本市は10.3%となっております。

将来負担比率につきましては、本市の全ての会計と一部事務組合に加えて、第三セクターを含めた本市が将来負担すべき実質的な負債を示す比率でございますが、法令で定める比率350%に対し、本市の数値は52.5%となっております。

次に、表の2、各公営企業会計に係る資金不足比率についてでございますが、いずれの会計も平成29年度において資金不足を生じておりませんので、数値はございません。

以上のように本市の平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率につきましては、いずれも法令で定める基準を下回る結果となっております。今後とも、市債発行額の抑制を通じ、後年度の財政負担を増大させないよう計画的な事業執行に努めてまいりたいと考えております。

◎経済建設部長（山田一弘君）

経済建設部長。

◎議長（川西 仁議員）

経済建設部長、山田部長。

◎経済建設部長（山田一弘君）

私からは、報告第4号及び報告第5号、市長専決処分の報告について、また報告第6号、株式会社ウッドピアの経営状況について順次ご説明いたします。

報告第4号でございますが、お手元の議案書14ページをお開きください。

市長専決処分の報告について、地方自治法第180条第1項及び議会の委任による市長の専決処分事項に関する条例本則第1号の規定により、損害賠償について専決処分をしたので、地方自治法第180条第2項の規定により報告をするものでございます。

15ページをお開きください。

内容は、専決第13号、専決処分書のとおりでございますが、相手方は香川県高松市在住の方でございます。損害賠償に至る事故が発生した概要は平成30年5月31日、午後2時10分ごろ、美馬市脇町字西赤谷の市道脇町520号線において、道路舗装の穴によりまして相手方のタイヤ及びホイールを破損させたものでございます。平成30年7月1

8日に相手方との和解が成立したため、全国町村会総合賠償補償保険より損害賠償金4万9,804円を支払うものでございます。

続きまして、報告第5号についてご説明いたします。

17ページをお開きください。

内容は、専決第14号、専決処分書のとおりでございまして、相手方は、阿波市在住の方でございます。損害賠償に至る事故が発生した概要は、平成30年7月8日、午前11時30分ごろ、美馬市脇町字西赤谷の市道520号線において、道路舗装の穴によりまして相手方のタイヤを破損させたものでございます。平成30年7月31日に相手方との和解が成立したため、全国町村会総合賠償補償保険より損害賠償金4,293円を支払うものでございます。

以上、簡単でございしますが、報告第4号及び第5号の説明とさせていただきます。

続きまして、18ページをお願いいたします。

株式会社ウッドピアの経営状況を説明する書類について、地方自治法の規定によりまして報告第6号のとおり報告をいたします。

19ページをお開きください。

第24期の事業実績でございまして、森林整備事業として9,659万9,664円の総支出額となっております。

20ページをお開きください。

貸借対照表でございまして、平成30年3月31日現在、資産の部では流動資産、固定資産、合わせまして1億4,945万3,850円でございまして、次に、右側の欄でございまして、負債及び純資産の部では、流動負債のみで1,306万2,860円でございまして、また、純資産合計は、資本金などを合わせまして1億3,639万990円でございまして、負債及び純資産合計額は1億4,945万3,850円でございまして。

21ページをお開きください。

21ページから22ページに掲載をいたしております損益計算書でございまして、右側の欄の売上高、営業外収益、特別利益を合わせました収益合計は1億160万1,854円でございまして、一方、左側の欄、売上原価、販売費及び一般管理費、営業外費用並びに特別損失合わせました費用合計は9,659万9,664円でございまして、収益合計から費用合計を差し引いた当期純利益は、500万2,190円となっております。

続いて、23ページをお開きください。

第25期の事業計画書でございまして、森林整備事業として、8,130万円の予算となっております。

以上、簡単でございしますが、報告第6号の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

◎議長（川西 仁議員）

以上で報告が終わりました。

次に、休会についてお諮りをいたします。会期中の会議日程については、お手元にご配

付のとおりであります。明日9月6日から9月11日までの6日間は議案精査及び市の休日のため休会といたしたいと思います。

これにつきまして、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(川西 仁議員)

異議なしと認めます。よって、明日9月6日から9月11日までの6日間は休会とすることに決しました。

以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

なお、次会は9月12日午前10時から再開をし、代表質問及び一般質問を行います。

本日はこれをもって散会といたします。

散会 午前10時55分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成30年9月5日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 1番

会議録署名議員 2番

会議録署名議員 3番